

9) 元三大師堂【重要文化財】

御本尊：元三大師像

元三大師（がんざんだいし）とは、第18代天台座主で、叡山中興の祖、そして、おみくじの生みの親と言われる、慈恵大師良源のことです。

元三大師堂は、1618年（元和4年）に建立された寄棟造の建物で、重要文化財に指定されています。



現在は、元三大師像の他、弘法大師像、文殊菩薩像、普賢菩薩像、如意輪観世音菩薩像、不動明王像を安置しています。学業成就・試験合格のご利益があるとされ、毎月3日の例月祭や、1月3日の「新春合格祈願護摩供」の際には、多くの受験生やその家族が参拝に訪れます。

お堂前の「ちえの輪」をくぐって参拝します。

10) 地藏山（地藏堂）

御本尊：地藏菩薩像（立江地藏尊）

明治時代に、近郊地域や境内各所から集めた有縁・無縁のお地藏さまを、小さな丘に合祀したのが、地藏山の始まりとされ、現在はお堂が建立されています。

周辺には、色々な名称の地藏像が祀られています。



本尊・立江地藏尊は、古くから、眼病に霊験があるとされています。

毎月24日は、お地藏さんのご縁日です。

本尊「立江地藏尊」は古来眼病に霊験ありと篤く信仰されているお地藏さまです。地藏山の西端には、逢坂清水のお地藏さんをお祀りし「融通さん」として親しまれています。